

【2023年9月 『9月県議会』一般質問 質疑応答】（1面から続く）

1. 「人口減少社会における外国人労働者問題について」

我が国の在留外国人数は、昨年、2022年末で307万5,213人、前年末比11.4%増加で、過去最高を更新。初めて300万人を超えている。

併せて、2022年10月末現在、日本で働く外国人労働者は対前年比5.5%増の182万2,725人で、届け出が義務化された2007年以降過去最高を更新。外国人労働者は国内雇用者全体の3%に達している。

以下、服部誠太郎知事に問う。



[質疑応答全文]

Q1：在留資格別にみると、「身分に基づく在留資格」、次いで「専門的・技術的分野の在留資格」、「技能実習」の順となっており、「技能実習生」については、2022年末現在で約32万5千人。「技能実習」の目的は労働ではなく国際貢献であるものの、実態は国際貢献というよりは中小零細企業における人手不足解消に利用されているのが現実。本県における外国人労働者について、在留資格別人数。就労先事業所の従業員規模別の構成比はどのようになっているのか。

Q2：本県において、外国人材確保について、商工会議所や商工会、また九経連など企業団体との意見交換や、合同の取り組みなどが成されているのか。また、本県内の外国人労働者の雇用環境の改善に向け、これまでどのような取り組みを進めたのか。

Q3：こうした東アジア全体で起こりうる外国人労働者の争奪戦について、知事はどのような認識をお持ちなのか。また、どのように外国人材確保に向けて取り組まれるのか。

Q4：国内外の厳しい経営環境の折、県内企業が留学生等の外国人材から選ばれる企業になるため、県としてどのような企業支援を講じるのか。

Q5：我が国がこれから外国人材を多く受け入れるため、知事は国の施策として不足していると思うものは何か、お答え頂くとともに、その解決に向けて国にどう働きかけていけるのか。

〈全文 - http://www.haranaka.jp/gikai_question/202309_1.html〉

2. 「新県立美術館建設に伴う周辺環境の整備について」

福岡県「新県立美術館」については、2029年度中の開館を目指し、今後、建設が進められる。新県立美術館建設場所に選定されている県営「大濠公園」の南側には、「NHK福岡放送局」、「福岡県護国神社」、文武両道でも名高い「私立大濠中高校」があり、公園南側入口の脇には福岡県出身の初代内閣総理大臣・広田弘毅の像が建っており、郷土史愛好家の探索スポットとなっている。

「国体道路」から南側は六本松エリアになり、「九州大学六本松キャンパス跡地」の再開発で活況を帯びている「ROPPONMATSU421」、「護国神社」の「蚤の市」、そして福岡市営地下鉄「七隈線」の延伸と相まって、六本松という街のブランド化が進み、このエリアは新たな観光スポットとして大変な賑わいを見せている。近年、観光パンフやスマホを片手に散策する外国人観光客も数多く見られる。しかし、市営地下鉄「六本松駅」周辺や六本松エリアから「大濠公園」、「日本庭園」、そして「舞鶴公園」や「鴻臚館」へといざなう多言語の案内等がない。

Q1：福岡県「新県立美術館」の南側、「国体道路」側や六本松エリアからの回遊性の向上をどのように考えられているのか。

〈全文 - http://www.haranaka.jp/gikai_question/202309_2.html〉



[質疑応答全文]

福岡県「2023(令和5)年9月補正予算」を可決・成立しました。

今議会では、「2023年梅雨前線豪雨災害」の復旧・復興対策に取り組むとともに、「安全・安心の確保」、「燃料費上昇分等への支援」、「地域活性化」に必要な経費として、総額515億9,700万円を追加する補正予算案を審議し、可決・成立しました。

いずれも、被災された農林漁業者・商工業者への緊急支援、公共土木施設の復旧、災害復旧の効果を高め、災害の再発防止など、緊急かつ重要な予算です。そして、燃料費上昇分等への支援や地域活性化については、県民生活の安定、生活支援に欠かせない予算です。

速やかな施策実施、予算執行に努めて参ります。



令和5年度9月補正予算のポイント

予算編成の考え方

「令和5年梅雨前線豪雨災害の復旧・復興対策」に取り組むとともに、「安全・安心の確保」、「燃料費上昇分等への支援」、「地域活性化」に必要な経費を計上

補正予算の規模

(単位：百万円)

区分	当初予算 A	現計予算 B	9月補正 予算 C	9月補正後 予算 D=A+B+C
一般会計	2,197,509	2,214,379	51,597	2,265,976
特別会計	982,964	982,964	0	982,964
計	3,180,473	3,197,343	51,597	3,248,940



[9月補正予算
QRコード]

←補正予算の概要

『9月県議会』では以下の「意見書」を可決しました。

本年『9月県議会』では、以下の「意見書」を可決しました。これら「意見書」は衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、関係所管大臣に提出され、政策実現を求めます。

- 地方財政の充実・強化に関する意見書（※民主県政クラブ県議団提出）
- 知的障がい者の利便に資する療育手帳の法制化及び基準の統一化を求める意見書
- ALPS処理水の海洋放出に係る着実な対応の継続を求める意見書
- 軽油引取税の課税免除措置の存続等を求める意見書
- 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

今年は第1回福岡県議会議員選挙が施行されて145年の節目。

本年、2023年10月は、1878（明治11）年10月「第1回福岡県議会議員選挙」が施行されてから145年目となる節目の年・月です。

我が国の府県会は、1878（明治11）年7月の『府県会規則』の施行により制度化。福岡県では、同年10月、県下19の郡区において実施された県議会議員総選挙によって56人の議員が選ばれ、翌1879（明治12）年3月に「第1回福岡県議会」が開かれています。

そして、戦後初の統一地方選挙は1947年4月に実施され、福岡県議会では73人の議員が選出されています。以後4年ごとに統一選・改選が行われています。福岡県議会議員定数は2023年現在、条例で87人に定められています。

なお、議員定数は『地方自治法』に基づき、各自治体の条例によって定められています。人口あたり、県議はおおむね5万人に一人、福岡市議は2.6万人に一人となっています。（※定数は条例で定められており、『地方自治法』に則り詳細な計算式があります。）



ホームページ



YouTube



x (Twitter)



Instagram

〈原中まさしとつながりましょう!〉

県議会での質疑応答、各種政策や情報はホームページにアップしています。また、日常的な活動はSNSでも発信しています。ぜひ、SNSでつながりましょう!